

議会だより

3月定例会

平成19年3月定例会は、2月22日から3月23日まで開催されました。
今定例会は、市長から提出された平成19年度予算や一般議案、市民の方から提出された請願、陳情が、予算審査特別委員会や各委員会審査され、最終日には、これらの議案の他、追加議案や議員提出議案が上程され採決されました。(追加に審議結果を掲載)
なお、市政に関する一般質問は、代表質問6人(6会派)、個人質問4人の合計10人が行いました。

議案の概要

3月定例会に提案された議案の概要です。

- 議案第60号 平成18年度松戸市一般会計補正予算(第三回)
既定の歳入歳出予算の総額に22億6027万2千円を追加し、予算の総額を1119億6511万2千9百円とする。
- 議案第61号 平成18年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第二回)
既定の歳入歳出予算の総額に8億271万2千円を追加し、予算の総額を415億6511万5千円とする。
- 議案第62号 平成18年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第二回)
既定の歳入歳出予算の総額に1億842万4千円を追加し、128億326万4千円とする。
- 議案第63号 平成18年度松戸市老人保健事業特別会計補正予算(第一回)
既定の歳入歳出予算の総額に1億842万4千円を追加し、128億326万4千円とする。
- 議案第64号 平成18年度松戸市市介護保険特別会計補正予算(第二回)
既定の歳入歳出予算の総額から4056万3千円を減額し、予算の総額を163億4742万2千円とする。
- 議案第65号 平成18年度松戸市水道事業会計補正予算(第一回)
事業費の確定に伴う計数整理を行うとともに、継続費および企業債の変更をする。
- 議案第66号 平成18年度松戸市病院事業会計補正予算(第三回)
市立病院については、医療収益の減額、医療外収益および医療費の増額と一般会計からの負担措置企業債の変更等をする。
- 議案第67号 平成19年度松戸市一般会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ112億2770万円と定める。
- 議案第68号 平成19年度松戸市国民健康保険特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ437億5763千円と定める。
- 議案第69号 平成19年度松戸市松戸競輪特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ245億3780万4千円と定める。
- 議案第70号 平成19年度松戸市下水道事業特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ128億3991万7千4千円と定める。
- 議案第71号 平成19年度松戸市施設方即売市場事業特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ3億6118万2千円と定める。
- 議案第72号 平成19年度松戸市老人保健事業特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ233億9150万7千円と定める。
- 議案第73号 平成19年度松戸市駐車場事業特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ1億5178万1千円と定める。
- 議案第74号 平成19年度松戸市介護保険特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ171億6672万8千円と定める。
- 議案第75号 平成19年度松戸市水道事業会計予算
安定給水の確保ならびに施設の整備充実を図るため、第五次拡張事業および老朽管の布設替え等施設改良事業を推進し、営業費用等所要の経費を措置する。
- 議案第76号 平成19年度松戸市病院事業会計予算
市立病院においては、地域の中核病院として、医療の充実と患者サービスの向上を目指す。医療器械購入費および施設整備費等所要の経費を措置し、市立東松戸病院



千葉県水道局栗山浄水場配水塔(地図は8面に掲載)

戸病院については、医療収益および医療費の減額、医療外収益の増額と一般会計からの負担措置企業債の変更等をする。

- 議案第67号 平成19年度松戸市一般会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ112億2770万円と定める。
- 議案第68号 平成19年度松戸市国民健康保険特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ437億5763千円と定める。
- 議案第69号 平成19年度松戸市松戸競輪特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ245億3780万4千円と定める。
- 議案第70号 平成19年度松戸市下水道事業特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ128億3991万7千4千円と定める。
- 議案第71号 平成19年度松戸市施設方即売市場事業特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ3億6118万2千円と定める。
- 議案第72号 平成19年度松戸市老人保健事業特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ233億9150万7千円と定める。
- 議案第73号 平成19年度松戸市駐車場事業特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ1億5178万1千円と定める。
- 議案第74号 平成19年度松戸市介護保険特別会計予算
予算総額を歳入歳出それぞれ171億6672万8千円と定める。
- 議案第75号 平成19年度松戸市水道事業会計予算
安定給水の確保ならびに施設の整備充実を図るため、第五次拡張事業および老朽管の布設替え等施設改良事業を推進し、営業費用等所要の経費を措置する。
- 議案第76号 平成19年度松戸市病院事業会計予算
市立病院においては、地域の中核病院として、医療の充実と患者サービスの向上を目指す。医療器械購入費および施設整備費等所要の経費を措置し、市立東松戸病院

については、医療の充実と患者サービスの向上を目指す。所要の経費を措置する。

- 議案第77号 特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
市長、副市長、教育長および常任監査委員の退職手当の支給割合を変更する。
- 議案第78号 松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市公営企業職員の給与の種別及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律に基づき、本市に派遣される滞在するに要した職員に対して支給する武力的攻撃等派遣手当を定めるとともに、医師等に対する初任給調整手当および地域手当の支給割合の特別を定める。
- 議案第79号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
千葉県知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例の改正により、優良宅地の認定に関する事務が本市に移譲されたことに伴い、建築物の安全性の確保を図るに等しい内容を建築基準法の改正に伴い、構造計算適合性判定の審査に関する手数料を定める。
- 議案第80号 松戸市11人ヘルパー派遣手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
障害者自立支援法の施行に伴い、11人ヘルパー派遣手数料の徴収対象者を変更する。
- 議案第81号 松戸市立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について
県内の公立高等学校との均衡を考慮し、授業料を引き上げる。
- 議案第82号 松戸市心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例の制定について
規定中の「特殊学級」を「特別支援学級」に改める。
- 議案第83号 松戸市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
障害者自立支援法の施行等に伴う支給資格の規定の整備を行い、所得制限規定を設ける。
- 議案第84号 松戸市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について
道路法施行令の改正に伴い、条例で引用する同令の条項名をこれに合わせて。
- 議案第85号 和解及び損害賠償額の決定について
当事者双方の意見が一致したため、当該相手方との交渉の結果、当事者間の合意が成立したため、議案第86号 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を訂正し、規約の制定に関する協約について
広域連合の設置および一部事務組合の解散等により、本組合を組織する地方公共団体の数が増減するとともに、地方自治法の改正に伴い会計管理者設置等を行う。
- 議案第87号 松戸市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
民間事業所における勤務形態を考慮し、休憩時間を廃止するとともに、半日の代休日の指定等を行う。
- 議案第88号 松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
国民健康保険に係る医療費の増加等に伴い、一般被保険者に係る基礎賦課額の保険料率および基礎賦課限度額を引き上げる。
- 議案第89号 教育委員会委員の任命について
教育委員会委員の任期満了に伴って後任者を任命する。
- 議案第90号 固定資産評価員の選任について
固定資産評価員が退任するため後任者を選任する。

3月定例会の日程

2月22日	本会議 市長の施政方針説明 教育長の教育施策方針説明 議案の説明等
23日	常任委員会 常任委員会開議(補正予算等)
28日	本会議 補正予算等の採決
3月1・2・5日	本会議 市政に関する一般質問
6日	常任委員会 総務財務常任委員会
7日	常任委員会 健康福祉常任委員会
9日	常任委員会 教育経済常任委員会
12日	都市整備常任委員会
14・15・19・20日	予算審査特別委員会
23日	本会議 議案、請願・陳情の採決 追加議案の上程・採決 議員提出議案の上程・採決

主な内容

- P2～3...一般質問
- P4.....一般質問・常任委員会の審査
- P5.....平成19年度予算審査特別委員会の審査
- P6.....予算討論
- P7.....審議結果・意見書・人事案件 ほか
- P8.....市議会表彰・編集の窓 ほか

一般質問

3月定例会では、1・2・5日の3日間、市長の施政方針を中心に市政に関する一般質問が行われました。

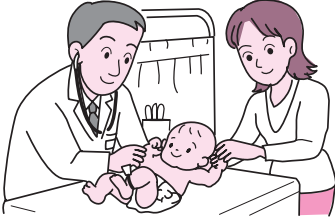
質問者は、まず各派を代表して中川英孝・城所正美・大川一利・伊藤余一郎・長谷川満・二階堂剛議員が登壇し、続いて個人では、山中啓之・本郷谷健次・中田京・高橋義雄議員が登壇しました。

市民クラブ

乳幼児医療費助成の新たな展望は

問 本市では、乳幼児医療費助成として千葉県が限度とする「歳末満児」に1歳上乗せし、4歳未満児まで助成している。本市の貴重な医療資源を活用した経済的な子育て支援の新たな展開をどのように考えるか。

答 この施策は医療保険で全国一律の制度にするべきと考えますが、国の制度が定まるまでの間の渡り期を乗り切らるため、県補助金を活用し、市として1歳上乗せして実施した療である。平成20年度から医療保険制度改正で、自己負担2割



の対象が3歳未満児から就学前児童まで拡大される。本市も厳しい財政状況ではあるが、20年度から現行の4歳未満児を就学前児童まで拡大することになった。また、併せて千葉県知事に1歳上乗せを要望してきたところ、県は19年10月から補助対象を3歳未満児から4歳未満児に拡大する予算措置をし、2月県議会では更なる拡大について市町村と協議のうえ検討したいとの答弁があった。本市においても県の拡大時期に合わせた実施を視野に入れ検討する。

問 道路費通に伴う事業費の投資効果、事業完成に至った場合の経済効果は。

答 幸谷・二ツ木区間のうち、二ツ木側は、平成6年度に用地買収が完了し、路盤工事も完了している。本路線は千葉県北西部における広域的な幹線道路であり、本市において新松戸地域と小金原・常盤平地域の交通が確保されるに東部地域と結ばれ、本市域内の幹線道路としての機能が促進される。この事業による効果は、移動時間の短縮などはもとより、さまざまなものが期待される。道路整備を検討する際、比較検討するうえでの判断材料として、費用便益分析があげられる。便益は計画道路がある場合と無い場合とを算定される。それにより、予想される経済効果は、供用開始後30年間の試算で約103億円の総

都市計画道路 3・3・7号線について

問 道路費通に伴う事業費の投資効果、事業完成に至った場合の経済効果は。

答 幸谷・二ツ木区間のうち、二ツ木側は、平成6年度に用地買収が完了し、路盤工事も完了している。本路線は千葉県北西部における広域的な幹線道路であり、本市において新松戸地域と小金原・常盤平地域の交通が確保されるに東部地域と結ばれ、本市域内の幹線道路としての機能が促進される。この事業による効果は、移動時間の短縮などはもとより、さまざまなものが期待される。道路整備を検討する際、比較検討するうえでの判断材料として、費用便益分析があげられる。便益は計画道路がある場合と無い場合とを算定される。それにより、予想される経済効果は、供用開始後30年間の試算で約103億円の総

教育改革について

問 市立学校の教職員にも、松戸市教育改革の理念やアクションプランのねらいが共有されているか。

答 本市教育改革計画においては、学校の「自主性・自律性」を高め、「創意工夫ある学校経営」のもと学校経営の転換を図ることに最大の努力と成果を期待している。学校の「自主性・自律性」の確立とは、学校の組織内部においてその質的改善を図っていくという組織内作用が定着してきたところである。校長や教員が意欲を持って特色ある学校づくりなど、多様な教育活動を推進できる環境が醸成してきた。「学校制度」や「学校・教職員の目標申告制度」の結果や報告をおし、学校や教職員個々の改革・改善意識の高まりをかい間見ることができている。多様で柔軟な対応を進め、より広い視野から改革に取り組む流れは生まれてきている。

公明党

健康都市日本を目指して 「食育」への取組は

問 施政方針で食育推進運動の展開を掲げているが、「松戸の食を考える」食育推進準備会を検討された内容と今後の取組を伺う。

答 食育推進準備会は、平成18

放置自転車の活用で 国際貢献を

問 大量廃棄されている放置自転車を再生し、「もったいない」を気づかせてくれたアフリカの国へ感謝の思いを込めて、贈ることはできないか。

答 カンボジアへは、平成14年から教育委員会が学校の机といすを寄贈しており、新たに消防自動車3台の寄贈も決定した。さらに、民



市役所玄関前のキッチンガーデン

地球温暖化防止に 家庭での取組評価を

問 市民と一体となった地球温暖化防止活動を進めるために、各家庭で取り組んでいる環境対策を評価して、認定書を配付するなどの方策も必要と思いませんか。

答 市民生活が環境問題の大々要因の一つとなり、規制や指導がなじまない個人の自発的行動が必要時代へと転換してきている。各家庭の環境に対する取組を評価していくことは、市民が取り組むうえでの持続と行動のステップアップにつながる有効手段と考える。市では平成19年度に地球温暖化防止対策として「省エネルギー」などの取組をしようという市民、削減目標や取組内容を「宣言」し、認定証を交付する「へんせつ」エコライフ宣言制度を予定している。目標とりの成果をあげた市民については、広報等でその内容を発表し、多くの市民にも知っていたら、多くのご波効果も期待している。



松政 クラブ

馬橋駅西口の バリアフリー化を

問 馬橋駅西口にある都市整備公社の用地にリールを建設し、併せてバリアフリー化を図る計画案が変更されたとのことだが、その理由と今後の取組について伺う。

答 都市整備公社が作成したモデル計画案を受け、本市では平成18年9月、都市整備本内部にプロジェクトチームを設置し、この計画案をベースとした事業化の検討を行った。その中で前提条件である、新坂戸岸道路の車両の通行を止めて迂回させることについてはきわめて困難であり、「駅自由通路は、設置後30年を経過しており撤去する方針であったが、構造上充分使用に耐えることが判明した。その結果、自由通路のバリアフリー化を先行してエレベーターの設計委託費を新年度予算に計上した。

子どもたちを 犯罪から守るために

問 「松戸市警防ネットワーク」の今後の展開と新規・拡充事業の内容について伺う。

答 本市では、犯罪が起きにく

い地域環境整備を大きな目的とし、市、市民防衛協力団体、警察などとの連携を深め、各々が担当している防犯活動をより効果的・効率的に行えるよう、総合防犯ネットワークの構築を目指していく。新たに設置する防犯対策の担当室を中心とした庁内の取組体制の整備はもとより、各団体相互での情報交換と情報共有を図り、迅速に対応できる組織を構築する。

平成19年度の主な新規事業は、地域の防犯パトロール活動を行う一般車両の燃料費や地域防犯活動の拠点に対する一部助成、子ども安全対策マニュアルの作成、地域で作る防犯パトロールの作成支援や夜間防犯パトロールの民間警備会社への委託などである。

また、主な拡充事業は、青色回転灯装備車両(青パト)を3台増車するとともに、下校時などの防犯パトロールなどを強化していく。

市民の安全・安心を確保するための救急施策は

問 本市における平成18年度の救急出動件数は17年より233件少ない1万9487件であったが、この状況を踏まえ、救急施策への取組と今後について伺う。

答 本市の救急施策への取組は、市民自らが必要手当技術を獲得するための救急指導とこれを支援するための「救急救命ネットワーク」の構築・拡大である。現在、民間事業所に協力いただき、51事業所・75台のAEDが市内に設置されている。この効果は大きく、17人が病院収容前に生命を再開した。

また、救急車を本当に必要とする人のため、18年度より、消防救急などでも相談電話を開設し、365日24時間対応している。また、救急需要の増加に対応するため、民間救急事業者の育成を行い、現在20人の認定業務員と14台の認定車両により、救急業務の一翼を担っていた。

今後も、「早い通報」「早い応急手当」「早い救急処置」「早い医療処置」を遂げることなく行う「救命の連鎖の実現に向け、努力していく」



日本 共産党

市民への松戸市国民保護計画の周知は

問 この計画について市民に説明が十分にされていないのでは、また、武力攻撃に際し避難措置が求められているが、市民の生命と安全を確保できているか。

答 松戸市国民保護協議会に諮問して作成された「松戸市国民保護計画(案)」については、ホームページに掲載するとともに各支所や防犯課等で閲覧できるようにブックレットを実施した。また、避難措置については、千葉県国民

特別養護老人ホーム 待機者への対応は

問 特養ホーム待機者解消のためにどのような対応をされているのか。

答 平成19年1月1日現在の入所希望者数は、1144人である整備状況は、現在11施設796床が整備され、第3期介護保険事業計画では20年度までに小規模特別養護老人ホームを含め、108床を整備し、合計904床を整備する予定である。また、介護老人保健施設については、6施設、496床が整備され、20年度までの数値目標696床を19年度中に達成できる見込みである。

障害者自立支援法の施行に伴う市の施策は

問 法の施行に伴い、国は利用者負担が増加したなどの意見を踏まえ、一部手直しを迫られているが、市ごとの軽減策については、どのように考えているか。

答 平成18年10月1日から地域生活支援事業中の相談支援事業、要約筆記の養成研修事業は無料とし、介護給付費等の個別給付の障害福祉サービスについては、複数のサービスを利用した場合、限額の障害福祉サービスの月額上限額を

上回らないよう軽減措置するなど総合管理を行っている。さらに19年4月1日からは、国の所得階層区分の低所得2(市民税が非課税世帯)の本人の収入が80万円を超え500万円の上限額、2460万円を1500万円に軽減し、一般世帯のうち市民税均等割世帯の上限額37200円を24600円に軽減する。

民主 まつど

広域行政と 市民サービスの向上

問 政令指定都市を目指した広域行政が、市民への行政サービス向上にどのようにつながるか。

答 市町村合併については本市は、千葉県市町村合併推進構想において、更なるステップアップを目指すべきと考える。とされており、ますます合併しなければならぬ状況ではない。一方、地方制度調査会(内閣総理大臣の諮問機関)より道制の導入についての答申がされ、地方自治体のあり方が大きく変わるようとしている。

今後、広域行政に関しては多様な権限が付与され、活用の機会が増えることが想定される。本市が現状の規模、権限のまま推移したとき、将来にわたり住民生活を安定的に行政運営していくことが合理的であるかを政策課題として研究する必要がある。今後も市民や議会に報告するとともに、情報の共有を進めながら議論することにより、研究を深めたい。

松戸市総合計画の後期 基本計画の財政見直しは

問 後期基本計画(計画期間平成23年度から32年度)を策定する際に、再度財政構造を見直す必要があると思うが、市の基本的な考え方は。

答 後期基本計画の策定にあたり、今後、前期基本計画期間(10年度から22年度)には存在しない社会状況が予想され、行政状況に影響してくると思われる。財政見直しも従来の考え方ではとらえきれない面があり、十分な検証が必要と考える。そこで第3次実施計画(20年度から22年度)の進行管理において、予算編成前に3年先の財源推計と合致するように、毎年度見直す予定である。このことが後期基本計画を策定する際の、財政見直しの検証にも寄与するものととらえている。

新市民党 クラブ

シニア交流センター 充実の具体策は

問 施政方針においてセンターの充実とあるが、その具体策は、また、センターへの送迎の利便性を高める施策はないか。

答 平成19年度は、18年度の事業を継続するほか、ポータルティ活動と自主的な学習グループ等の情報交換や仲間づくりを支援する。また、高齢者に関心の高い年金講座の開催など、シニア交流センター運営協議会で検討しながら一層の充実を図ってきたい。

問 本市の受診率が低いことについて市の見解は、また、新年度に向けてどのような取組を考えているか。

答 受診率の向上に向け、誕生月健診の周知や新たに健診の対象となる39歳や40歳以上の転入者に対し、基本健康診査の受診勧奨案内を通知している。このことにより受診者数も徐々に増加している。平成18年度については、継続して2年間受診していない方々の登録を抹消し、常に同じ案内が届くという状況に変化をつけたところである。

問 本市の受診率が低いこと



基本健康診査の 受診率の向上を

問 本市の受診率が低いこと

答 放課後児童クラブ法人連絡協議会(MAC)において、2回にわたって低所得者保育料について協議いただいた。低所得者の範囲を現在の生活保護世帯の1・5倍の収入から1・8千円の保育料のうち千円程度値上げし、ほぼ同額を市が別に財政支出できないかなど検討されている。

問 近隣市と比較して本市の保育料は高いと思われるが、低所得者世帯の保育料については今後どのように検討されていくか。

答 放課後児童クラブ法人連絡協議会(MAC)において、2回にわたって低所得者保育料について協議いただいた。低所得者の範囲を現在の生活保護世帯の1・5倍の収入から1・8千円の保育料のうち千円程度値上げし、ほぼ同額を市が別に財政支出できないかなど検討されている。

問 放課後児童クラブ

答 放課後児童クラブ法人連絡協議会(MAC)において、2回にわたって低所得者保育料について協議いただいた。低所得者の範囲を現在の生活保護世帯の1・5倍の収入から1・8千円の保育料のうち千円程度値上げし、ほぼ同額を市が別に財政支出できないかなど検討されている。

無所属

市の職員の不祥事は

問 過去の不祥事は何件あったか。また、その根本的な対策は。

答 本市において不祥事の件数は昭和41年から今日まで、飲酒運転および車での事故が27件、公益開係が11件、暴力行為が10件、服務義務違反関係が9件、窃盗行為が3件、医療事故などその他の事由が5件となっている。

根本的な対策は可能かというところであるが、個人の資質に原因がある場合は、極めて難しい問題である。公務員だからと市民の負担に比べなければならない。不祥事によって市民の信頼を損ね、業務に対する不信感を招くことがないよう職員に対して注意を喚起し、自覚を促していきたい。

松戸市警防ネットワークの目標と体制は

問 官と民という区分けでは解決できない問題が増えているなか、警防ネットワークの定量的目標と推進体制について伺う。

答 刑法犯認知件数も成歩指標の一つであるが、本事業では防犯できない犯罪も含まれている。多くの防犯関連事業を推進していることから、取組の重要性や成果等を検証したうえで、何らかの指標を定めていきたい。

体制としては、市内9地域に防犯対策推進支部を設け、新たに地域防犯対策連絡協議会の設置を促進して、より多くの団体と横の連絡を密にした。地域が一体となったネットワーク化を図りたい。そのためは、地域の力の結集が重要であり、今後、地域の組織づくり、行動計画づくり等を支援していきたい。

パブリックコメントの意見募集結果報告について

問 パブリックコメントに付する行政処分と考えるが、行政手続条例にのっとり、意見募集結果報告までの標準処理期間を明らかにする考えはあるか。

答 行政手続法、行政手続条例における標準処理期間は、公権力の行使に伴う一処分、について設けているのである。

パブリックコメントの意見募集結果報告の期間を規定しないのはパブリックコメントを実施する案件ごとに提出される意見数が異なり、意見の取りまとめにかかる時間に差異が生じるためである。

ただし、提出された意見の取りまとめから結果報告までは、当然速やかに行うことが望まれている。その旨を施機関に周知している。

新松戸けやき通りの新松戸けやき通りの延伸について伺うか。

問 つくばエクスプレスの開通後、南流山駅（行行や）道路はできないかという市民の声が多いが、神明坂の手前で行止りになっている新松戸けやき通りの延伸について伺うか。

答 けやき通りの延伸については交通ネットワークの観点から幹線道路への延伸を検討した経緯があるが、多くの地元住民の反対があり、神明坂の手前で行止りの状態になっている。延伸計画はなく、神明坂に架橋し、幅員11mで計画されている流山市側神明坂沿いの区画道路に接続する方法も考えられる。

つくばエクスプレスの開業により南流山駅への交通アクセスが新松戸地区の課題であると認識しているが、けやき通りを延伸するには何よりも地元住民との合意形成が必要不可欠であると考えられる。

今後、流山市木地区土地区画整理事業の状況と新松戸地区住民の気運を員守りながら検討していきたい。

常任委員会の審査から

総務財務 常任委員会

議案第77号 特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
主な質疑

問 特別職の退職手当の支給割合変更について、諮問を受けた特別職報酬等審議会はどのような意見があったのか。

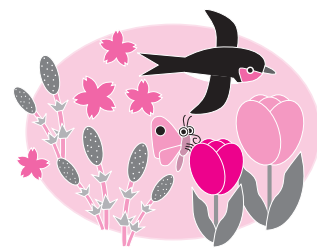
答 特別職報酬等審議会は、答申までに3回開催された。審議会では、選挙公約で退職手当を引き下げると言った上、引き下げるべきではないか、「自治体全体のバランスを考慮すべきではないか」、「財政状況勘案し、市長が率先して引き下げる」との意味は大きい。「一般職の退職手当も引き下げられており、特別職も引き下げろ」との意見があった。

問 今後団塊の世代が退職すると高齢化も進み、医療費の給付も増加すると思われるが、健康な状態を保つことにより医療費の抑制を図る施策と進ちょくについて伺う。

答 平成20年から厚生労働省により医療保険者に義務付けられる特定健診・保健指導事業が始まる。メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）といわれる生活習慣病に対応した健診を行い、その結果肥満、高血圧等の境界領域の人を抽出し、個別面接やグループ面接を行い保健指導していく。その後、その3か月後に腹囲や体重を診て6か月後に最終的な評価を行うプログラムを考えている。本市としても一時的に医療費は膨らむかもしれないが、長期的に見れば医療費は抑制されるものと考えている。

議案第88号 松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
主な質疑

健康福祉 常任委員会



都市整備 常任委員会

議案第65号 平成18年度松戸市水道事業会計補正予算（第一回）
主な質疑

問 第5次拡張事業が平成20年度まで終了する予定であるが、事業開始から20年程度の進捗よく状況をみると、事業が進まない時期もあった。今後、事業終了に向けての課題は何か。

答 事業計画の年割額をみていくと、途中の年度で金額が低い時期がある。これは主に、建設場所の関係から小金浄水場建設に遅れをきたしたためであり、これの早期建設が一番の懸案事項であった。小金浄水場は、19年度末までに工事を完了させ、20年7月までに供用を予定している。並

問 授業料を低減する要因は何か。公立学校の授業料については

答 国がおおむね3年毎に見直しを行っている。その主な要因は、物価の状況、私立高校の授業料と格差、公費負担と自己負担の割合、その他公共料金を考えあわせ、総局的に国が定めている。

問 優良宅地の認定に関する事務のうち、千葉県の事務が市に移譲されるわけであるが、これにより何が実現するのか、また、市にメリットはあるのか。

答 宅地面積1,000㎡以上の優良宅地の認定事務が、千葉県から市に移譲されることになった。現在宅地開発面積が500㎡以上のものについては、開発行為あるいは市条例の適用となり、事業者は市と事前協議をしなければならぬ。事務が移譲されても市に直接的なメリットがあるものではないが、宅地の供給促進ということに関しての二元管理が可能となるものと考えている。

2月23日および3月6・7・9・12日に各常任委員会が開催され、今定例会に提出された議案および請願・陳情が審査されました。
ここでは、その審査のなかでの質疑・答弁（要点）の一部を掲載します。（議案の内容は一面に掲載）



建設中の小金浄水場

予算審査特別委員会委員

- 委員長 田居 照康
- 副委員長 渡辺美喜子
- 委員 飯箸 公明 杉山 由祥
- 洪谷 剛士 木村みね子
- 宇津野史行 名木 浩一
- 大井 知敏 工藤 鈴子
- 桜井 秀三 松井 貞衛

予算審査特別委員会の審査から

平成19年度予算案(10会計)を可決

予算のあらまし

会計名	予算額(千円)	伸長率(%)	
一般会計	112,270,000	3.1	
特別会計	国民健康保険	43,757,638	11.9
	松戸競輪	24,537,884	7.8
	水道事業	12,839,174	2.1
	公設地方卸売市場事業	361,182	1.8
	老人保健事業	23,391,582	2.2
	老車場事業	105,181	3.2
企業会計	水産事業	3,719,315	10.6
	病院事業	18,179,452	0.3
合計	256,328,136	4.4	

一般会計

総務費
松戸市警防ネットワーク
事業について



問 夜間の防犯パトロールを民間委託することだが、本来、犯罪防止は警察が行うべき業務であり、市としては千葉県に対し、警察官の増員および交番の新設を要請すべきではないか。

答 市民を犯罪から守り、市民生活の安全と安心を確保・提供することは、市として取り組むべき重要な施策であると考えている。犯罪が起きにくい地域環境整備など市民が犯罪に遭わないようにするために、現状では警察だけでなく、市民が犯罪抑制につながる事前対策を講じることが、警防ネットワーク事業の目的である。なお、警察官の大幅な増員と交番の新設については、毎年度、県に対して要請している。

民生費
全校に放課後児童クラブの設置を

問 市内にはまだ未設置の小学校があるが、全校配置はできないか。また、定員問題なども一部であるが、小学校施設内への設置をさらに推進すべきではないか。

答 本市の次世代育成支援行動計画の整備目標である平成21年度までに、未設置の5か所については順次設置していき、できるだけ早い時期に全校整備できるよう準備を進めたい。また、老朽化した施設についても早急に対応していきたい。

衛生費
前立腺がん検診を
実施する考えは

問 本市では、前立腺がん検診が実施されていないが、今後の見通しと近隣市の状況について伺う。

答 前立腺がん検診については、経費の関係から基本健診と同時に実施の可能性について検討してきたが、がん検診は、健康増進法の中で市町村事業として位置づけられており、広く市民に平等に実施できることが求められている。今後は、平成20年度に医療制度改革により特定健診・保健指導を医療保険者の責任で実施することが予定されており、この制度改革に合わせて、現在実施している他のがん検診も含め、実施方法、実施医療機関、経費等について検討し、なればならないものと考えている。千葉県内における前立腺がん検診の実施率は54%で、近隣では千葉市、船橋市、市川市等が実施している。

土木費
花のあるまちづくりを
の維持、花いっぱい運動はどのよ

問 緑のポランテアによる緑の維持、花いっぱい運動はどのよなことをしているのか。

答 本市では、花壇つくりポランテアへの支援と里山ポランテア入門講座を実施している。花いっぱい事業は、花壇つくりポランテアへの支援として、地域の公園や街路樹柵を花いっぱいにしたいという希望のある町会や

ポランテア入団に対し、基礎整備や花の苗の供給等の支援を行い、植え付けや水やり等の日常管理を行っている。一方、里山ポランテア入門講座では、緑の保全に関心を持つ市民に本市の現状を知っていただき、樹林地保全の意識を高め、実際の活動につなげていくものである。現在、この受講生で組織する3団体が、市内民有樹林地で維持管理等の活動を行っている。



消防費
地域防災訓練の
実施への対応は

問 地域の防災訓練の実施率は80%以上となっているが、実施している町会と実施していない町会の差、また実施している町会でも内容の差が危惧される。地域での訓練実施の状況と、その程度把握し、どのように対応しているのか。

答 自主防災組織の訓練指導は互いに顔が見え、地域に密着した指導ができることから、各消防署が行っている。訓練に対する町会の取組の差は各消防署で把握しており、町会等と協力をお願ひして地域を含めた訓練がより実施されるよう対応を図っている。

平成18年11月には、「地域一丸となって災害に立ち向かおう」とを合

教育費
学校教育施設の開放は

問 学校体育施設開放事業で現在、開放が実施されているのは何校あるのか。また、事業の平成19年度予算案は、18年度に比較して約45%減少になっているが、予算の減少に伴い開放校自体も減少されるのか。

答 小中学校の体育施設開放は小学校44校、中学校20校の合計64校全校において、学校運営に支障がない範囲で実施している。19年度は、予算の減少によって開放校も減るのかということであるが、全校で開放事業を実施することに変わりはない。

特別会計
老人保健事業
特別会計の今後は

問 平成20年4月より後期高齢者医療制度が導入されるが、老人保健事業特別会計は今後のどのようなことになるか。また、市町村と後期高齢者医療連合の役割分担は、

答 老人保健連合の役割分担は、老人保健特別会計という名称の特別会計はなくなる。今後は法律の改正により、後期高齢者医療制度が創設され、制度の名称を付けた特別会計が設置されることになる。市町村と後期高齢者医療連合の役割分担は、全体の運営については広域連合が行い、特に医

療機関等への診療報酬の支払いは一括して支払うようになる。窓口事務については住民に近いところで実施するということが、市町村が引継ぎ受け持つことになる。

企業会計
病院会計
外来患者の
待ち時間について

問 市立病院の外来の状況について伺う。

答 電子カルテの導入により、予約の時間単位を従来の1時間単位から30分単位に短縮したことや、診療の待ち時間の表示により、患者の予約時間合わせて来院するようにしたこと等により、予約患者の待ち時間は短縮された。しかし、新患や予約外の患者を比較的に長く待たせるケースもあり、苦情を受ける場合もある。

待ち時間が発生する理由は、予約枠の中に新患や予約外の患者を振り分けて診療しているためである。改善策として特に外来患者の多い内科系診療科について、総合内科の外来を新たに設け、専門の外来の受診前、あらかじめ診察や検査を行い、スムーズに専門の外来につなげる仕組みを検討中である。



平成19年度 予算討論

定例会最終日に、平成19年度予算案に
対する討論が行われました。

日本共産党

日本共産党を代表して、一般会計および国民健康保険、競争下水道事業、公設地方卸売市場事業、老人保健事業、介護特別会計に反対する。

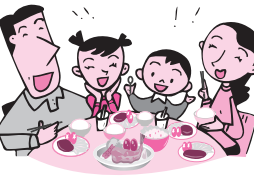
第2次実施計画の進捗状況、見通しと併せて、本市行政が民生生活を支える責務を果たしているかに着目して審査にあつた。平成19年度で最終年度を迎える第2次実施計画は、策定後すぐ200億円の財政不足が発覚。そこに民間土地画数増事業への公金投入29億円が加わり、総額229億円の財政不足という異常な事態となつた。この財政不足解決のために断行された行政改革は、通年手当・難病者援護金・寝たきり身体障害者等福祉手当の引下げや市民センターのお風呂廃止など市民サービ

い立場にある高齢者を切り離し、負担増を押しつける老人保健制度の問題点を指摘し、反対する。介護保険会計では、サービス、保険料、施設とあらゆる分野で困難を抱えた保険制度の打開を求め、反対する。以上、7会計について反対する。

市民クラブ 松政クラブ

市民クラブ・松政クラブを代表して、一般会計、特別会計、企業会計の10件すべてに賛成する。

平成19年度地方財政見通しによる、地方財政計画の規模の抑制に努めてもなお、18年度に引き続き大幅な財源不足の状況にある。一般会計として総務費は、「松戸市警防ネットワーク」について既存の事業を横断的にネットワーク化するなど、ソフト・ハード両面の取組に期待する。松戸市独自の新たな取組を今後も松戸市、犯罪セロのまちづくりを進めていた



衛生費については、「食育」についての食育推進フェアの開催および松戸市食育推進計画の策定が予定されており、「食」を通じて健康やで楽しい、活力ある地域社会の実現にむけた取組を期待する。

3・7号線の早期開通、各種都市計画決定の見直し等について、重要課題として取り組んでいたように要望する。

教育費は、本市教育課題の解決に寄与する教育モデルの構築を目指す。小中学校バリエーションスクール事業計画については、附帯決議を踏まえた事業説明を行いながら、先駆的・先導的なものになるようお願いします。

老人保健会計は、後期高齢者医療制度の特別会計へ移管され、事務負担や財政負担等、先が読めない状況であり、今後経過の説明をお願いします。

病院会計については、近年の医師不足や診療報酬の改定により収益の減少など、経営環境は極めて厳しいため、新年度案等予定の「新病院基本計画」においては、事業仕分けの考え方を十分に検討していただきたい。

社民党 新社クラブ

一般会計および国民健康保険会計について反対、競争下水道、卸売市場、老人保健、駐車場および病院の2企業特別会計に賛成する。

総務費では、職員定数の適度な削減に至らぬよう要望する。女性の管理職については、積極的な登用をお願いします。平和事業については、今後も充実・拡大を要望する。松戸市警防ネットワーク事業については、警察官増員と交番増設を早に求め、実現させることこそ最優先すべきものと考える。民生費では、障害者自立支援法により、障害者の負担増と支援不足が危惧される。高齢者福祉については、夜間対応型訪問介護サービス拠点整備に期待する。児童福祉については、放課後児童クラブ、児童虐待相談窓口、子育て



で支援、公立保育所等の充実をお願いします。衛生費では、土・日の乳幼児健診や白井聖地公園へのバス運行の充実、ごみの不法投棄をさせない環境づくりと民間回収資源化システム支援事業での資源化と再利用への更なる対応を要望する。

労働費では、若者の就労支援や障害者雇用の促進に実質的な効果をあげる努力をお願いします。商工業費では、県に対し、中小企業への支援要請と消費生活相談事業による悪徳商法等からの消費者擁護に尽力いただきたい。

土木費では、既存建築物の耐震診断や改修促進事業に関し、木造住宅改修への助成制度の検討を要望する。市営住宅については、経済的に厳しい世帯への配慮をお願いします。

教育費では、学校図書館へ専任司書教諭の配置を要望する。19年度からの図書館の休日開館と現行の夜間開館は評価する。以上、一般会計に反対する。

公明党

一般会計予算、特別会計予算および企業会計予算のすべてに賛成する。

「官から民へ、国から地方へ」の流れのなかで、地域の「コミュニティ」再生と行政との協働による豊かな地域社会の実現が、強く求められている。

一般会計については、税源移譲等により市税の増収も見込まれるが、義務的経費の支出が増大するなか、厳しい予算編成であったと推察される。

総務費では、学校給食検校に地域住民の声を十分に取り入れるよう強く要望する。市民ぐるみ犯罪防止活動では、予算生かした対策ができるよう取り組まれない。

民生費では、親子DE広場の増設やファミリー・サポート・センターの充実を図り、子育てしやすい環境づくりに全力で取り組まれない。生活保護世帯が増加傾向にあるが、今後更なるケア・スワーカー配置や事業の実施を願う。

衛生費では、がん対策基本法が平成19年4月から施行されるが、市民への検診啓発と前立腺がん検診の導入を要望する。

商工業費では、景気回復が市民レベルにまで波及していない現状で、空き店舗対策の予算が半減されているが、引続き支援に取り組みしてほしい。消防費では、高規格救急自動車40台配備となる、救急救命士も全人制に向けて、今後も人材育成に力を注がれたい。

教育費では、学校における食教育の充実と栄養教諭の拡充に尽力された。国保会計については、収納率向上の取組を評価する。生活習慣病対策事業の実施にあたり、特定健康診査等の取組は保険料抑制に寄与するものと思われる。病院会計については、地域がん診療連携拠点病院と地域周産期母子医療センターの指定に向けて、努力いただきたい。

まじび民主

一般会計予算、各特別会計予算、各企業会計予算について賛成する。

一般会計は、厳しい財政状況下ではあるが、更なる市民サービスへの向上、充実につながる観点から審査にあつた。少子高齢化社会を本格的に迎え、各扶助費の増加、多様な市民ニーズ、都市間競争ともいえる今日の状況、さらには団塊の世代が退職期を迎え、退職者の増加に伴う人員費増など支出には必要と迫られるのが多く、厳しい市政運営が求められる。

総務費では、新公金収納方策導入により収納率の確保、また警防ネットワークが実効ある事業となることを期待する。

民生費では、子育て支援策と高齢者施策の拡充、障害者へのサービスが低下しないようお願いします。衛生費では、高い評価を得ている夜間小児急病センターの更なる拡充と食育への取組や周産期母子医療の充実などを期待する。

労働費では、若者就労支援、中小企業や商店街の活性化など今後とも引続き努力願う。教育費では、子どもへの教育は現役世代の関心施設であり、「松戸版教育改革」実現、不断の努力を期待する。

国保会計は、保険給付費が10億円増加するなか、保険料の値上げはやむを得ないが、低所得者層への配慮を評価する。競輪会計は、一般会計への1億円繰り出し、さまざまな努力と効率化により平成19年度も行われることなどを評価する。

介護保険会計は、介護保険制度の税方式への制度改革を求め、現行の制度下における努力を評価する。病院会計は、新生児医療の取組や第3次救急医療体制の充実などを高く評価する。市立病院の建替え等の課題はあるが、今後の事業展開に期待する。



3月定例会 審議結果

番号	件名	本会議の結果	番号	件名	本会議の結果
市長提出議案					
第60号	平成18年度松戸市一般会計補正予算(第3回)	可決 多数意見	第86号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	同意 全会一致
第61号	平成18年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	可決 多数意見	第87号	松戸市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致
第62号	平成18年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第2回)	可決 全会一致	第88号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見
第63号	平成18年度松戸市老人保健事業特別会計補正予算(第1回)	可決 多数意見	第89号	教育委員会委員の任命について	同意 全会一致
第64号	平成18年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)	可決 多数意見	第90号	固定資産評価委員の選任について	同意 全会一致
第65号	平成18年度松戸市水道事業会計補正予算(第1回)	可決 全会一致	議員提出議案		
第66号	平成18年度松戸市病院事業会計補正予算(第3回)	可決 全会一致	第12号	沢間俊太郎議員への申入書について	可決 全会一致
第67号	平成19年度松戸市一般会計予算	可決 多数意見	第13号	国民健康保険料負担の軽減の補助金復活と保険証取上げの中止を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第68号	平成19年度松戸市国民健康保険特別会計予算	可決 多数意見	第14号	介護保険制度の改正に関する意見書の提出について	否決 多数意見
第69号	平成19年度松戸市松戸競輪特別会計予算	可決 多数意見	第15号	医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第70号	平成19年度松戸市下水道事業特別会計予算	可決 多数意見	第16号	「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第71号	平成19年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算	可決 多数意見	第17号	「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第72号	平成19年度松戸市老人保健事業特別会計予算	可決 多数意見	第18号	松戸市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決 全会一致
第73号	平成19年度松戸市駐車場事業特別会計予算	可決 全会一致	第19号	松戸市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致
第74号	平成19年度松戸市介護保険特別会計予算	可決 多数意見	請願		
第75号	平成19年度松戸市水道事業会計予算	可決 全会一致	第5号	すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめ、心のかよう学校をつくるための請願	不採択 多数意見
第76号	平成19年度松戸市病院事業会計予算	可決 全会一致	第6号	すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめ、心のかよう学校をつくるための請願	不採択 多数意見
第77号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見	第7号	すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめ、心のかよう学校をつくるための請願	不採択 多数意見
第78号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見	第8号	すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめ、心のかよう学校をつくるための請願	不採択 多数意見
第79号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	陳情		
第80号	松戸市ホームヘルパー派遣手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見	第14号	子どもの医療費助成制度を小学校入学前まで年齢拡大することを求める陳情	継続審査
第81号	松戸市立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見	第15号	子どもの医療費助成制度の一部自己負担を撤廃することを求める陳情	不採択 多数意見
第82号	松戸市心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致			
第83号	松戸市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 多数意見			
第84号	松戸市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致			
第85号	和解及び損害賠償の額の決定について	同意 全会一致			

教育委員会委員1人の任期満了、固定資産評価員の退任に備え、それぞれ次の方の任命および選任に同意しました。(敬称略)

人事案件

教育委員会委員
瀧田 泰子

固定資産評価員
三澤 達夫

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

医師不足を解消し、安心してできる地域医療体制の確保を求める意見書

「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書

「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書

意見書3件提出



沢間俊太郎議員への申入書

本市議会は、平成14年12月24日の議決に基づき設置した議会内発言調査特別委員会における沢間俊太郎議員の虚偽の陳述に対し下された千葉県地方裁判所松戸支部の有罪判決を受け、先の議決(平成18年12月議会)において、議員の職務の社会的、道義的責任の重大さから辞職勧告決議をしたことである。

沢間議員はこの一審判決に対し同月25日に控訴をしたが、本年1月17日にはその取下げをし、これにより一審判決が確定した。この取下げをした経緯が何であったか知り得ないが、これは市民と我々公選による者と信頼関係を自ら放棄するとともに、偽証の事実を認めたもので、これまでの主張が虚偽に基づいていたことの証左である。

沢間議員がこの重大な事実に対し虚言を弄してきたことは議会人としてあるまじき行為であり、広く市民の負担にのびるべき責務を有する議員として資質が問われるものである。社会に与えた影響も大きく、また、議会の権威、議員に対する市民の信頼を失墜させた責任は極めて重大である。

よって、沢間議員は、このことを真摯に受け止め、職責の重さを自覚し、社会的、道義的責任を負うとともに、市民に対する責任として先に議決した辞職勧告決議を改めて認識し、辞職することとを申し入れるものである。

千葉県松戸市議会



松戸市議会表彰



受賞者のみなさんと岡本和久議長

市議会表彰

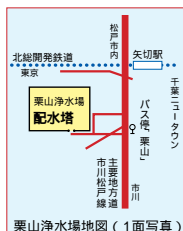
定例会招集日(2月22日)に、松戸市議会表彰が本会議場で執り行われました。この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等に特に功績のあつた個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い功労に報いるとともに、市民の郷土愛を育むことを目的としています。

個人表彰

- 佐藤 あゆみ (市立六実第三小学校) ・2006オールキッズトライアスロンJOCジュニアオリピック小学生女子1年の部 優勝
- 田辺 優貴 (市立常盤第三小学校) ・平成18年度全国少年少女レスリング選手権大会小学生の部女子5年生28kg級第1位
- 大胡 龍之介 (市立八ヶ崎小学校) ・平成18年度全国少年少女レスリング選手権大会小学生の部4年生26kg級第1位
- 飯田 陽 (市立大橋小学校) ・平成18年度全国少年少女レスリング選手権大会小学生の部4年生28kg級第1位
- 鈴木 千加 (市立相模台小学校) ・平成18年度全国少年少女レスリング選手権大会小学生の部女子3年生30kg級第1位

団体表彰

- 河合 美南 (市立根木内小学校) ・第7回東日本少年フエニシング個人選手権大会小学生女子サード第1位 坂牧 春佳 (市立梨香台小学校) ・第6回スクリーピング国際ピアノコンクール8歳〜12歳部門 第1位 高橋 成美 (市立新松戸北中学校) ・第75回全日本フイギアーステートジニア選手権第1位(敬称略)
- 市立第六中学校 バドミントン部 ・第36回全国中学校バドミントン大会女子ダブルス 優勝 木村 暉 青木 優子
- 市立第四中学校 吹奏楽部 ・第12回全日本管楽奏奏コンテスト全国大会 最優秀クラリネット部 F.Cクラリス松戸 ・第12回全日本ユース(U-15)フットサル大会 優勝 市立第一中学校合唱団
- ・平成18年度こども音楽コンクール中学校合唱部門文部科学大臣奨励賞(全国1位) (敬称略)



栗山浄水場地図(1面写真)

声の議会だよりをご利用ください。

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音テープを希望者に貸し出してあります。詳しくは左記までご連絡ください。

松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 383 7111
住所 松戸市五香西3 7 1

編集の窓

3月定例会初日に、松戸の未来を担う子どもたちのスポーツ・文化での輝かしい活躍に対し市議会表彰が行われ、惜しみに拍子音が響きました。時を同じうして定例会の間、各小中学校では卒業式が行われ出陣をいたしました。ある小学校では卒業生が名前を呼ばれると、両親や教職員への感謝の言葉や将来の夢などをそれぞれに大きい声で元気よく会場のみんもの向かって叫びました。とても感動的な卒業式であったとともに、私たち大人も地域の子どもたちの成長がりに勇氣とエネルギーをもらえて、とてもうれしく思いました。平成19年度予算も可決され、私たち議員は子どもたちにもっとパワーを糧に、市民サービスの更なる向上のため努力してまいります。

6月定例会の開催予定

平成19年松戸市議会6月定例会は6月11日(月)から28日(木)まで開催される予定です。諸般陳情は5月31日(木)正午までに提出してください。

期日	主な内容
11日(月)	招集日本会議議案説明
12日(火)	本会議(設置問)
13日(水)	" "
14日(木)	" "
15日(金)	常任委員会(議案審査等)
21日(木)	" "
22日(金)	" "
25日(月)	" "
26日(火)	" "
28日(木)	本会議(議案の採決)

開会式先議会議事務局(3667382)

次回発行予定は7月29日(日)です。